



2020年5月22日

各 位

株式会社 富山銀行

投資信託の取扱商品追加について

富山銀行（頭取 中沖 雄）は、2020年5月25日（月）から投資信託の取扱商品を、下記の通り追加いたします。

当行では、今回の取扱商品追加により、金融商品のラインアップを充実させ、お客さまの幅広いニーズにお応えするよう努めてまいります。

記

1. 取扱開始日

2020年5月25日（月）

2. 追加商品

ファンド名	委託会社
THE GRIPS One 国際分散投資戦略ファンド (目標リスク 2%、4%、6%)	アセットマネジメント One (株)

※「目標リスク 8%」は、2019年12月2日より、既に取扱を開始しております。

3. 商品概要

別紙を参照願います。



【投資信託に関する留意事項】

- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
 - 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等によります。したがって、元本および分配金が保証されている商品ではありません。主なリスクには以下のものがあります。
 - (金利変動リスク) 金利が上昇した場合に債券価格が下落し、基準価額が下落するリスクです。
 - (価格変動リスク) ファンドに組み入れられた株式や債券などの価格の変動の影響で基準価額が下落するリスクです。
 - (為替変動リスク) 外貨建資産について、当該通貨の外国為替相場が円高になった場合に基準価額が下落するリスクです。
 - (信用リスク) 株式や債券の発行体の経営に直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合にファンドにも重大な損失が生じるリスクです。
 - (流動性リスク) 市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合等にファンドの組入銘柄を売却する際、期待価格での売却ができず、不測の損失を被るリスクです。
- 詳しくは各ファンドの目論見書および目論見書補完書面等をご確認ください。
- 投資信託のお申込時にはお申込手数料、ならびに運用期間中には信託報酬等がかかります。また、換金に際して信託財産留保額などのコストがかかるものがあります。※ファンド毎に手数料等は異なりますので、各ファンドの目論見書および目論見書補完書面等をご覧ください。
 - 投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入されたお客様に帰属いたします。
 - 富山銀行でご購入された投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
 - 富山銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は投信会社が行います。
 - 投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。
 - 投資信託をご購入の際は、目論見書および目論見書補完書面等により、必ず商品内容や留意事項を十分ご理解のうえ、ご自身のご判断でお申込みください。
 - 目論見書および目論見書補完書面等は当行本支店にご用意しております。

商号等	株式会社 富山銀行 (登録金融機関)
	登録番号 北陸財務局長 (登金) 第1号
加入協会	日本証券業協会

本件に関するお問い合わせ先
富山銀行 営業統括部 TEL 0766-27-0164
担当 営業企画グループ

以上

商品概要

2020年5月22日現在

商品名	THE GRiPS (One 国際分散投資戦略ファンド (目標リスク 2.4.6%))	
委託会社	アセットマネジメント One 株式会社	
受託会社	みずほ信託銀行株式会社	
申込 (購入) 単位	1万円以上1円単位	
解約単位	1口単位	
投資積立サービス	取扱可 (積立金額は5千円以上千円単位)	
決算日	毎年6月8日 (休業日の場合は翌営業日)	
信託期間	2019年11月29日設定 2030年6月10日まで	
購入手数料	3.30% (税抜3.0%)	
信託報酬	目標リスク 2%	年率 0.803% (税抜 0.73%) を乗じた額
(対純資産総額)	目標リスク 4%	年率 1.133% (税抜 1.03%) を乗じた額
	目標リスク 6%	年率 1.463% (税抜 1.33%) を乗じた額
信託財産留保額	ありません。	
収益分配	年1回の毎決算日に収益分配方針に基づいて収益分配を行う。	
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	商品市場、外国商品市場または外国為替取引の停止、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込については、お申し込みの受付を中止することおよびすでに受付けたお申し込みの受付を取消すことがある。	
購入・換金申込 不可日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、フランクフルト証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドンの銀行のいずれかの休業日に該当する日には、購入・換金のお申し込みの受付を行いません。	
商品の特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国内外の複数の資産委分散投資を行なう。 2. 基準価額の変動リスクを一定程度に抑えつつ、中長期的にリスク水準と同程度のリターンの獲得を目指して、運用を行なう。 3. 目標リスク水準 2, 4, 6, 8%から選択できる。 	
投資リスク	市場 (価格変動) リスク、デリバティブ取引に関するリスク、資産配分リスク、為替変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリーリスク	